

国 里 発 第 7 5 0 号
平成27年12月15日

都道府県
各 指定都市 障害保健福祉主管部（局）長 殿
中 核 市

国立障害者リハビリテーションセンター総長
（ 公 印 省 略 ）

平成27年度 リハビリテーション看護研修会の開催について

標記について、別紙実施要綱により開催することといたしました。

つきましては、貴管下関係機関への通知について特段の御配慮を御願い申し上げます。

平成27年度 リハビリテーション看護研修会実施要綱

1 目 的

リハビリテーション看護または知的障害・発達障害の看護に必要な専門的知識を習得し、その資質の向上を図るとともに、障害者看護の充実に資することを目的とする。

2 主 催

国立障害者リハビリテーションセンター

3 期 間

平成28年2月17日（水）～2月20日（土）

4 場 所

国立障害者リハビリテーションセンター学院（埼玉県所沢市並木4丁目1番地）

5 受講定員

50名

6 受講資格

リハビリテーション看護または知的障害・発達障害の看護に2年以上従事し、看護師、准看護師の免許を有している者

7 研修内容

別紙日程表のとおり

8 研修会費用

6,600円（初日に現金徴収する。なお、宿泊費及び食費は含まない。）

9 受講手続

受講希望者は、国立障害者リハビリテーションセンター学院ホームページ（下記URL）にアクセスし、申込案内に従いお申し込み下さい。

10 申込締切

平成28年1月15日（金）17:00

11 受講決定

1月29日（金）までに、ご登録いただいたメールアドレス宛て通知します。

12 修了証書

研修会修了者に対し、修了証書を授与します。

13 宿泊施設

①本センターの研修用宿泊施設に宿泊希望する者は、申込書式の該当欄にチェックをして下さい。

②宿泊費用は一泊2,380円（初日に宿泊日数分を徴収します。） 但し宿泊は研修会当日（2月17日）からとし、初日の研修会終了後の入舎となります。

※研修前日の宿泊はできません。

③宿泊人数には制限がありますので、お申し込みいただいても宿泊できない場合があります。

④宿泊内での食事の提供はございません。素泊まりのみとなります。

⑤宿舎の詳細については当センター学院HPに掲載しています。

（トップページの「研修宿舎」）

14 その他

- ①本研修会に関する照会は、国立障害者リハビリテーションセンター学院にお願いします。
- ②研修会最終日の終了時間は、プログラムの進行上延長もしくは変更される場合があります。お帰りの航空機、列車等の手配は予め時間に余裕をもってご準備願います。
- ③一部聴講は受付しておりません。

〒359-8555

埼玉県所沢市並木4丁目1番地

国立障害者リハビリテーションセンター学院

TEL 04-2995-3100（内線2619）

FAX 04-2996-0966

URL <http://www.rehab.go.jp/College/japanese/training/27train.html>

平成27年度 リハビリテーション看護研修会日程表

テーマ：障害者支援における多職種共働と看護職の役割 ～理念と技術の向上を目指して～

日 付	午 前	午 後
2月 17日 (水)		<p>・受付 (12:20-13:00)</p> <p>・開講式 (13:00-13:15)</p> <p>①行政説明 医療政策・看護政策 (13:15-14:15) 厚生労働省 医政局 看護課 看護職員確保対策官 石川 賢司</p> <p>②講義 地域における共働（連携）の現状と課題 ～訪問看護の立場から～ (14:30-16:00) NPO 白十字在宅ボランティアの会 理事長 株式会社ケアーズ 代表取締役 白十字訪問看護ステーション 統括所長 暮らしの保健室 室長 秋山 正子 (国リハ病院見学：希望者のみ) (16:15-16:45)</p>
18日 (木)	<p>③基調講演 多職種共働と看護職のこれからの役割 (9:00-10:30) 星槎大学 副学長 細田 満和子</p> <p>④ 意見交換会 (10:45-12:15) 国立障害者リハビリテーションセンター病院</p>	<p>⑤講義・演習 障害児者の口腔ケア (13:15-15:15) 明海大学 歯学部 形態機能成育学講座 口腔小児科学分野 講師 吉田 美香子</p> <p>⑥講義 看護師に必要なアンガーマネジメント (15:30-17:00) 横浜市立大学 医学部看護学科 講師 田辺 有理子</p>
19日 (金)	<p>⑦講義・演習 多職種から栄養ケアを理解して もらうためにできること (9:00-10:20)</p> <p>⑧講義・演習 食事の援助のポイント (10:30-12:00) 地域栄養ケア PEACH 厚木 代表 管理栄養士 江頭 文江</p>	<p>⑨講義・演習 多職種連携のためのコミュニケーション (13:15-15:15) 株式会社グローバルヘルスコミュニケーションズ 代表取締役 蝦名 玲子</p> <p>⑩講義 リハビリテーションにおける 多職種連携の未来～看護職に期待すること～ (15:30-17:00) 慶応義塾大学 医学部リハビリテーション医学教室 教授 里宇 明元</p>
20日 (土)	<p>⑪グループ討議 (9:00-10:30) 国立障害者リハビリテーションセンター病院</p> <p>⑫まとめ (10:45-12:15) 国立障害者リハビリテーションセンター病院 看護部長 栗生田 友子</p>	<p>・閉講 (12:15)</p>